

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2395700046
事業所名	グループホーム砂川

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目：2)	評価
	地域の一員として、散歩時には入居者と一緒にゴミ拾いを行い、地域行事にも参加している。近所の方は馴染みの関係になりつつあり、声をかけてくれたり、野菜等をいただくこともある。地域で暮らすことは、地域の理解や協力が必要不可欠であり、管理者のできること、職員のできることを考え取り組んでいる。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目：3)	評価
	会議は法人内の3グループホームが合同で2カ月に1回行っている。町の担当者をはじめ、地域包括支援センター職員、地域住民、入居者、入居者家族、ホーム職員が参加している。ホームの現状報告のほか、課題について話し合っている。また、新聞記事で出ていた情報なども伝えている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目：4)	評価
	町が主催する会議には管理者が出席しており、日頃から相談や情報交換等を行い協働関係にある。地域包括支援センターが主催する認知症サポーターの養成講座の講師を務めた。町の福祉まつりには作品を出展したり、介護相談を受けている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目：6)	評価
	入居者には、ホームでどう過ごしたいのか等、希望を伝えてもらえるよう、話し方に工夫し思いを聴いている。家族の訪問時には意見や要望等を聴き取り、内容によっては会議で話し合い運営に反映させている。毎月ホーム便りを発行し、入居者の和やかな顔が家族の心に安心を与えている。家族アンケートの結果からも職員との良好な関係がうかがえる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価						

1.外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2.外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2.事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3.運営推進会議を活かした取組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4.市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6.運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注)要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。